

診 調 組	コ - 1
2 1 . 7 . 1 0	

平成 20 年度

医療機関の部門別収支に関する調査報告（案）

目次

I	調査の概要	1
1.	目的	1
2.	調査の対象	1
3.	調査の種類と回答施設	1
4.	調査対象期間	3
II	調査内容	4
1.	診療科部門別収支の計算方法	4
2.	計算単位	4
3.	科目	6
4.	調査種類と内容	6
III	計算結果（概要）	7
1.	基礎数値	7
2.	留意事項	8
3.	収支計算結果	9
IV	計算結果（集計）	13
1.	レセプト診療科と診療科群の対応	13
2.	収支計算結果（レセプト診療科別）	14
3.	収支計算結果（診療科群別）	17
4.	収支計算結果（主要なレセプト診療科別、開設者別）	19
5.	収支計算結果（主要なレセプト診療科別、DPC対象・準備病院別）	25
6.	（再掲）透析部門・健診部門収支	31
V	計算結果（図解）	32
1.	患者一人一日当たり医業収益・医業費用分布（レセプト診療科）	32
2.	患者一人一日当たり医業収益・医業費用分布（診療科群）	38

3.	収支率の分布（レセプト診療科）	41
4.	収支率の分布（診療科群）	51
VI	等価係数.....	55
1.	給与費等価係数	55
2.	（参考）材料費等価係数.....	63

I 調査の概要

1. 目的

「医療機関の部門別収支に関する調査」（以下「部門別調査」という。）は、平成 15 年度から平成 19 年度までに実施された「医療機関の部門別収支に関する調査研究」において確立・検証された診療科部門別収支計算手法を用いて、病院における医業経営の実態等を診療科別に把握し、社会保険診療報酬に関する基礎資料を整備することを目的として実施したものである。

2. 調査の対象

病床種類が主に一般病床で構成される DPC 対象病院・DPC 準備病院のうち、レセプトデータをレセプト電算処理フォーマットで提供できる病院または「DPC 導入の影響評価に係る調査」の E ファイルを提供できる病院を対象とした。

3. 調査の種類と回答施設

部門別調査は、「一般原価調査」と「特殊原価調査」の二種類の調査で構成される。「一般原価調査」とは、病院における診療科別の収支を算定するための調査であり、診療科別収支を算定する全ての病院について実施する。また「特殊原価調査」とは、病院の中央診療部門（手術・検査・画像診断）における費用を各診療科に割り振るための係数（等価係数）を作成するための調査である。それぞれの調査施設数は以下のとおりである。

(1) 調査施設数

① 一般原価調査

①調査対象施設	②集計対象施設	集計対象施設の割合 (②/①)
190病院	127病院	66.8%

② 特殊原価調査

①調査対象施設	②集計対象施設	集計対象施設の割合 (②/①)
15病院	14病院	93%

(2) 開設者・病床規模等

集計対象施設の病床規模・開設者（国立公立・医療法人・その他^{*}）別、病床規模・DPC対象・準備別の施設数は以下のとおりである。

^{*} 「その他」とは、公的（日赤、済生会、厚生連など）、社会保険関連法人（全国社会保険協会連合会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会など）、その他（公益法人、社会福祉法人、医療生協など）である。

① 一般原価調査

開設者	病床規模			
	20～199床	200～499床	500床以上	総計
国立公立	1 (1%)	20 (16%)	13 (10%)	34 (27%)
医療法人	24 (19%)	25 (20%)	2 (2%)	51 (40%)
その他	7 (6%)	26 (20%)	9 (7%)	42 (33%)
総計	32 (25%)	71 (56%)	24 (19%)	127 (100%)

DPC対象・準備	病床規模			
	20～199床	200～499床	500床以上	総計
DPC対象病院	19 (15%)	55 (43%)	17 (13%)	91 (72%)
DPC準備病院	13 (10%)	16 (13%)	7 (6%)	36 (28%)
総計	32 (25%)	71 (56%)	24 (19%)	127 (100%)

② 特殊原価調査

開設者	病床規模			総計
	20～199床	200～499床	500床以上	
国立公立	0 (0%)	2 (14%)	3 (21%)	5 (36%)
医療法人	1 (7%)	2 (14%)	0 (0%)	3 (21%)
その他	2 (14%)	2 (14%)	2 (14%)	6 (43%)
総計	3 (21%)	6 (43%)	5 (36%)	14 (100%)

DPC対象・準備	病床規模			総計
	20～199床	200～499床	500床以上	
DPC対象病院	1 (7%)	5 (36%)	3 (21%)	9 (64%)
DPC準備病院	2 (14%)	1 (7%)	2 (14%)	5 (36%)
総計	3 (21%)	6 (43%)	5 (36%)	14 (100%)

4. 調査対象期間

(1) 一般原価調査

平成 20 年 10 月

(2) 特殊原価調査

平成 20 年 4 月～平成 20 年 10 月のうち 10 月分（必須）と、遡ってデータ提出可能な期間

II 調査内容

1. 診療科部門別収支の計算方法

部門別調査は、病院全体の収益・費用の金額を、最終的に入院部門、外来部門の各診療科単位に割り振り、診療科別収支（入院・外来ごとの診療科別収支）を把握するものである。

病院の診療科や部署（病棟、外来診療室、手術室、医事課等）を「入院部門」「外来部門」「中央診療部門」「補助・管理部門」の4部門に分け、そのうち「補助・管理部門」「中央診療部門」の収益・費用を段階的に「入院部門」「外来部門」の各診療科に配分する「階梯式配賦」という手法を用いて、診療科別収支を算定した。

2. 計算単位

部門別調査では、全病院共通のレセプト電算処理システム用診療科（以下「レセプト診療科」という）単位で収支を計算した。また、レセプト診療科での集計と同時に、類似するレセプト診療科をまとめた再集計用の「診療科群」を設け、「診療科群」単位でも集計を行った。

(1) レセプト診療科

レセプト診療科は以下のとおりである。

レセプト診療科											
01	内科	07	胃腸科	13	美容外科	19	皮膚科	25	婦人科	31	麻酔科
02	精神科	08	循環器科	14	脳神経外科	20	泌尿器科	26	眼科	32	(欠)
03	神経科	09	小児科	15	呼吸器外科	21	性病科	27	耳鼻いんこう科	33	心療内科
04	神経内科	10	外科	16	心臓血管外科	22	こう門科	28	気管食道科	34	アレルギー科
05	呼吸器科	11	整形外科	17	小児外科	23	産婦人科	29	(欠)	35	リウマチ科
06	消化器科	12	形成外科	18	皮膚泌尿器科	24	産科	30	放射線科	36	リハビリテーション科